

事務事業名	読りむちの活動支援事業	事業期間	2000 ~	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	連絡先	633	

政策 番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0105	子どもたちの言葉と心を育む	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高							
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える									
		実行計画	02	こども読書活動推進計画	0202	地域における読書活動の推進									
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称									
予 算 事 業 名	読りむちの活動支援事業					会計コード	01	款	10	項	05	目	07	事業	02
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	・パートナーシップの手法により、事業を展開し、地域の教育力を高め、生涯学習とまちづくりさらに市民力の向上を図る。 ・読りむちの推進活動事業…次代を担う子どもの「ことばとこころを育てる読書活動」の推進。														
現状と背景 (どうして)	子どもの生活時間や物事への興味、関心も多様化し、子どもたちの読書離れ、文字離れによる思考力の低下が叫ばれており、心豊かに人生を生きる力が求められている。そのために、次代を担う子どもの「ことばとこころを育てる読書活動」を推進することの必要性が出てきた。														
目的	受益者 (誰のために)	乳幼児、幼保小中高校生、広く市民一般													
	対象 (直接働きかける)	同上													
意 図 (どんな状態にしたいか)	・ことば体験を推進し、読書の楽しみや読書の力を生かすことによりまちづくり、ひとづくりにつなげていくために補助を行う。														
	手段・方法 (どうやって)	・ファーストブック・セカンドブックプレゼント ・幼保小中高の全校の朝読書推進活動 ・読書環境向上に向けての活動（講演会の実施） ・地域に根をはった読書活動等の実践（おはなし会の実施） ・広報誌の発行													
評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
		1	ファーストブックプレゼント事業の充実	プレゼンター数	人	プレゼンター数				30					
		2	読書ボランティア組織活動支援	博報賞文庫貸出冊数	冊	年間貸出冊数				200					
	3	読書ボランティア組織の充実	講演会の参加者数	人	講演会の参加者数				200						
	変更履歴														
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
1	博報賞文庫貸出者の満足度	博報賞文庫貸出者満足度	%	5段階評価のアンケートで5と回答された数 ÷ 全回答数 × 100				80							
2	講演会参加者の満足度	講演会参加者満足度	%	5段階評価のアンケートで5と回答された数 ÷ 全回答数 × 100				80							
変更履歴															

実 施 状 況	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	事業費等(a)	円	2,143,802	2,200,082	2,230,000		
	財源内訳	円					
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
成 果 指 標	活動指標	プレゼンター数	人	30	30	30	
		実績	人	25	17		
		達成率	%	83.33	56.67	-	-
	博報賞文庫貸出冊数	目標	冊	200	200	200	
		実績	冊	0	0		
		達成率	%	0.00	0.00	-	-
	講演会の参加者数	目標	人	200	200	200	
		実績	人	60	70		
		達成率	%	30.00	35.00	-	-
	成果指標	博報賞文庫貸出者満足度	目標	%	80	80	80
実績			%	0	0		
達成率		%	0.00	0.00	-	-	
講演会参加者満足度		目標	%	80	80	80	
	実績	%	0	85			
達成率	%	0.00	106.25	-	-		
備 考	博報賞文庫の運用は令和2年度から。						

事務事業名	読りむinちの活動支援事業		事業期間	2000	～	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係			連絡先	633	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果） 動指 要標 因分 （分析）		博報賞文庫を設置するにあたり、委員会を開き、選書や使途について検討を行っている。	博報賞文庫の実質の運用は、2020年4月からであり、実績はない。2019年度は図書を選定及び登録を行った。		
価値（総合評価）	成果	月夜のおはなし会では、その地域で活動しているグループ、園児などが参加し会を盛り上げている。例年1回だった講演会を、2回にし、より多くの市民に読書に興味関心を持つ機会を広げており、読りむの活動を周知している。	ファースト、セカンドを始め、おはなし会等の開催により、読書活動の普及に努めた。新型コロナウイルス感染防止のため、3月に予定した講演会は中止になり、参加者数は1回のみの実績となった。			
	課題	他の読書活動グループとの連携や関わりが少ない。読りむinちの活動、組織についてもっと周知していく必要がある。	読書活動グループと読りむinちのの立ち位置があいまいなまま経過している。情報共有の方法や関わり方を検討していく必要がある。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性（改善内容）	改善の方向性	読りむinちのの活動の周知、メンバーの増加につなげるために、博報賞文庫を周知していく。また、これから読書活動を行いたいと思っている市民にも活用してもらえるようにする。	公民協働による活動も20年を迎え、時代に合った運営体制にしていく必要がある。立上げ当時の想いは大切にしながらも、会員が疲弊せず、いきいきと活動できるように支援する。対等の立場で行う協働の意味や意義を再確認し、事務局のあり方や事業の内容等について人的コストも意識した運営を心掛ける。			
	策び容	地域、家庭へ読書がより一層根付くように、おはなし会や講演会を開催し、興味関心を持ってもらう。				
作成担当者	伊藤研一	河西茂廣				
最終評価責任者	藤森 隆	藤森 隆				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				

事務事業名	子ども読書活動応援センター事業	事業期間	2006 ~	年度	係内番号	05
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	連絡先	75-1250	

政策番号	02	基本計画	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高						
		基本計画①	01	教育大綱	0105	子どもたちの言葉と心を育む									
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える									
		実行計画	02	子ども読書活動推進計画	0208	子ども読書活動応援センターにおける読書活動の推進									
予 算 事 業 名	子ども読書活動応援センター事業費					会計コード	01	款	10	項	05	目	07	事業	01
事務事業の概要	平成18年4月に「第1次茅野市子ども読書活動推進計画」（ちの子ども読書の森づくりプラン）が策定され、現在「第3次子ども読書活動推進計画」（平成30年～平成35年）をもとに、「ことばとこころを育てる読書活動」を進めるため、公民協働で全市的に読書活動に取り組んでいる。子どもの読書に関してサポートする「子ども読書活動応援センター」には、専門知識を持った嘱託職員と臨時職員2名を配置し、読書活動の推進を図る。 主な業務：茅野市調べ学習コンクールの実施・読書ボランティアへの援助・学校図書館支援・子ども読書の日の推進														
現状と背景	「第1次子ども読書活動推進計画」から重点事業として取り組んでおり、「茅野市小中高調べ学習コンクール」をきっかけに、教科で学校図書館を利用する小中学校が増え、参考図書資料の需要が増えたことから、平成27年度に図書館振興財団事業の助成金を受け参考図書資料を応援センターに備えることができた。今後は、購入した参考資料の利用促進と学校図書館利活用の支援を図る。														
目的	受益者	胎児期を含む概ね0～18歳までの子ども													
	対象	胎児期を含む概ね0～18歳までの子ども													
	意図	読書が好きな子ども、発達段階に応じた情報リテラシーの力をつける。													
手段・方法	・園への絵本時間見学会実施 ・調べ学習コンクール実施と推進のための小中学校への職員研修や出前授業の実施 ・参考図書資料の貸し出しとワークシートの作成 ・学校図書館図書整備（選書・配架等）のための支援と相談 ・読書ボランティアが主体的・意欲的に参加していただける交流会の実施 ・平成27年度購入資料（朝日ジュニア学習年鑑70冊、日本のすがた40冊、日本国勢絵図20冊、世界国勢図会20冊、百科事典ポプラディア2セット、ポプラディア情報館50冊1セット、を希望する学校図書館に貸し出し調べ学習の支援を行う。														
	行政が活動することで作り出すもの 指 標 名 称 単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値														
評価指標の作成	活動指標	1	調べ学習作品の質の向上	調べ学習親子相談会受講者数	人	年間の受講者数	20								
		2	読書ボランティア交流会の開催	読書ボランティア交流会参加者数	人	年間の参加者数	80								
		3	学校図書館の充実	司書教諭の会開催数	回	年間の開催数	3								
	変更履歴														
成果指標	成果・効果は何？ 指 標 名 称 単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値														
	1	全国コンクール入賞作品数を増やす	全国コンクール入賞作品数	数	年間全国コンクール入賞作品数	10									
	2	第3次子ども読書活動推進計画進捗状況	施策の進捗状況5段階評価平均点数	点	活動の場ごとの施策の進捗状況5段階評価平均点	4									
変更履歴															

実 施 状 況	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)	円	6,358,116	6,303,567	5,473,000			
		国庫支出金	円						
		県支出金	円						
		地方債	円						
	一 般 財 源	その他特定財源	円						
		一般財源	円	6,358,116	6,303,567	5,473,000			
		目標	実績	達成率	20	16	20		
	活 動 指 標	調べ学習親子相談会受講者数	目標	人	20	16	20		
			実績	人	20	16			
			達成率	%	100.00	80.00	—	—	—
		読書ボランティア交流会参加者数	目標	人	80	80	80		
			実績	人	70	47			
			達成率	%	87.50	58.75	—	—	—
	司書教諭の会開催数	目標	回	2	2	2			
実績		回	1	2					
達成率		%	50.00	100.00	—	—	—		
成 果 指 標	全国コンクール入賞作品数	目標	数	10	10	10			
		実績	数	12	10				
		達成率	%	120.00	100.00	—	—	—	
	施策の進捗状況5段階評価平均点数	目標	点	4	4	4			
		実績	点	4	3				
		達成率	%	100.00	85.71	—	—	—	
備 考	(参考) 茅野市調べ学習コンペ出品数：2018年度1,013点、2019年度1,274点								

事務事業名	子ども読書活動応援センター事業	事業期間	2006 ~	年度	係内番号	05
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	連絡先	75-1250	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		参考図書資料の活用が周知され計画的に運用されている。 調べ学習コンクール全国入賞作品奨励賞以上の作品数が増え、層が厚くなる。 読書ボランティア活動の団体数前年度より1団体増える。	調べ学習コンクールの出品数が増加し、内容的に質も上がっていると感じる。		
価値（総合評価）	成果	調べ学習コンクールへの児童生徒、教職員の理解が深まり、周知されるようになった。参考図書資料の利用も増えた。 年2回の読書ボランティア交流会はワークショップや実演、絵本講座を実施し、好評だった。	昨年同様調べ学習コンクールへの児童生徒、教職員の理解が深まり、周知されるようになった。参考図書資料の利用も増えた。 年2回の読書ボランティア交流会はワークショップや実演、絵本講座を実施し、好評だった。			
	課題	調べ学習コンクールへの中学校での取組の工夫や、保護者の理解を進めるための取組が必要。 司書教諭会の計画的な実施。 読書ボランティアの高齢化	調べ学習コンクールへの中学校での取組の工夫や、保護者の理解を進めるための取組が必要。 司書教諭会の計画的な実施。 読書ボランティアの高齢化により、世代交代が今後の課題である。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性（内容）	改善の方向性	現状維持。調べ学習コンクール作品の質の向上を図るため、参考図書資料の活用を促し、スキルアップを図り、情報リテラシーの力をつけていきたい。また、調べ学習相談会を開き、保護者の理解をさらに進めていきたい。「調べ学習ナビ」をさらにわかりやすく改訂する。 読書ボランティア交流会は若い層の読書ボランティアにも関心をもってもらえるように内容を検討する。 司書教諭会を計画的に実施し、学校司書と連携し学校図書館の機能の充実を図る。	引き続き調べ学習コンクール作品の質の向上を図るため、わかりやすく内容改訂した「調べ学習ナビ」を活用するとともに、参考図書資料の活用を促し、スキルアップを図り、情報リテラシーの力をつけていきたい。また、調べ学習相談会を継続し、保護者の理解をさらに進めていきたい。 読書ボランティア交流会は若い層の読書ボランティアにも関心をもってもらえるように内容を検討する。 司書教諭会を計画的に実施し、学校司書と連携し学校図書館機能の充実を図る。			
策	策					
作成担当者	伊藤研一	河西茂廣				
最終評価責任者	藤森 隆	藤森 隆				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				